

今週の話題：

<予防接種における WHO の専門家で構成された戦略諮問グループ：推薦の要請>

WHO は、予防接種における専門家で構成された戦略諮問グループ（SAGE）の現在および将来における欠員に対し、推薦の提案を懇願している。WHO のヨーロッパ地域からのメンバーの委員席はまもなく欠員となる。この委員席の推薦については 2007 年 4 月 30 日までに協議されるべきである。全地域からのメンバーの推薦もまた常に歓迎されている。

SAGE は、WHO にとってワクチンや予防接種に関する重要な諮問グループである。SAGE は事務局長に直接報告し、ワクチンや技術の研究・開発から予防接種の供給やその他の健康への介入手段との組合せに至る総合的な世界的政策や戦略に関してまで WHO に助言する。その権限は、小児の予防接種に限らず、全年齢群に対してすべてのワクチン予防可能な疾患にも及んでいる。

メンバーは、自身の分野での優れた業績の記録を持ち、また委員会で保証された予防接種の発行物に対する知識を有する承認された専門家である。メンバーの任命は、外部の選抜委員会の提案に従い事務局長によってなされる。適切な地域代表性と性差の均衡を保証するために、十分な考察がなされる。

推薦に関する説明は次のリンクで入手可能：

[http://www.who.int/immunization/sage\\_nominations/en/index.html](http://www.who.int/immunization/sage_nominations/en/index.html)

<急性弛緩性麻痺（AFP）の監視能力とポリオ罹患率、2005-2006（2007 年 3 月 6 日現在 WHO 本部で受理されたデータ）>（WER 参照）

（村重素子、中西泰弘、高田哲）